【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和7年6月27日(2025.6.27)

【国際公開番号】WO2024/053462
【出願番号】特願2024-545584(P2024-545584)
【国際特許分類】
H01R 35/04(2006.01)
【FI】
H01R 35/04 F

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月26日(2025.2.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ステータと、
ワイヤーハーネスのケーブルの端部に設けられるハーネスコネクタに取り外し可能に接続可能なロテータ側コネクタを含み、前記ステータに対して回転軸線回りに回転可能に設けられるロテータと、
前記ロテータに連結されホルダ取付穴を含むホルダ取付部と、
前記ホルダ取付穴に取り外し可能に取り付けられ、前記ハーネスコネクタが前記ロテータ側コネクタに接続される状態で前記ケーブルを保持するケーブルホルダと、を備え、
前記ホルダ取付部および前記ケーブルホルダは係合構造を有する、
回転コネクタ装置。
【請求項２】
前記ケーブルホルダは、凹部を含み、
前記ホルダ取付部は、前記ホルダ取付穴内に設けられ前記ケーブルホルダが前記ホルダ取付穴に挿入される状態で前記凹部に係合する突起を含む、
請求項１に記載の回転コネクタ装置。
【請求項３】
前記ケーブルホルダは、ユーザの操作に基づいて前記凹部と前記突起との係合を解除するように構成される解除部を含む、
請求項２に記載の回転コネクタ装置。
【請求項４】
前記ホルダ取付穴は、前記回転軸線に沿って見た場合に少なくとも部分的に前記ロテータに対して径方向外側に設けられる、
請求項１に記載の回転コネクタ装置。
【請求項５】
前記ホルダ取付穴は、前記回転軸線に沿って定義される軸方向において前記ケーブルホルダが前記ホルダ取付穴に抜き差しされるように前記軸方向に開口する、
請求項１に記載の回転コネクタ装置。
【請求項６】
前記ロテータ側コネクタは、コネクタ取付穴を含み、
前記コネクタ取付穴は、前記軸方向において前記ハーネスコネクタが前記コネクタ取付穴に抜き差しされるように前記軸方向に開口する、

請求項５に記載の回転コネクタ装置。
【請求項７】
前記ケーブルホルダを前記ケーブルに連結する連結部材をさらに備える、
請求項１から６のいずれか一項に記載の回転コネクタ装置。
【請求項８】
前記連結部材は、前記ケーブルホルダを前記ケーブルに連結する少なくとも２つの連結バンドを含む、
請求項７に記載の回転コネクタ装置。
【請求項９】
請求項１から６のいずれか一項に記載の回転コネクタ装置と、
前記ハーネスコネクタと前記ケーブルとを含む前記ワイヤーハーネスと、を備え、
前記ワイヤーハーネスの前記ケーブルは、前記ハーネスコネクタが前記ロテータ側コネクタに接続される状態で前記ハーネスコネクタから前記ケーブルホルダまでの領域で湾曲するように配置される、
車載装置。